

「空気・水・熱」の技術を未来につなぐ

朝日工業社 創業

1925 1930

1940

1950

1960

1970

1980

1990

2000

2010

2020

創立100周年

2025

1925(大正14)年 4月3日、大阪市北区において
合資会社朝日工業社として創業

1928(昭和 3)年 東京出張所(現 本店)を開設

1940(昭和15)年 株式会社に改組

1964(昭和39)年 本社機構の改正により大阪支社を設置

1967(昭和42)年 機構上の本社を東京に移す

1970(昭和45)年 登記上の本店所在地を大阪から東京へ移転

1971(昭和46)年 東京証券取引所市場第二部へ株式を上場

1972(昭和47)年 大阪証券取引所市場第二部へ株式を上場

1979(昭和54)年 東京・大阪証券取引所市場第一部に指定替え

1983(昭和58)年 技術研究所を千葉県習志野市に開設

1984(昭和59)年 機器事業部を開設

1986(昭和61)年 北海道アサヒ冷熱工事株式会社を設立

1996(平成 8)年 台湾に現地企業との合併による
現地法人「亞太朝日股份有限公司」を設立

2003(平成15)年 亞太朝日股份有限公司を完全子会社化

2007(平成19)年 機器事業部豊富工場を開設

2012(平成24)年 マレーシアに現地法人
「ASAHI ENGINEERING(MALAYSIA) SDN.BHD.」を設立

2018(平成30)年 港区浜松町に本社・本店新社屋が完成

2022(令和 4)年 東京証券取引所市場区分見直しに伴い、
プライム市場に移行

創業者が発明考案した技術が 産業の発展に貢献



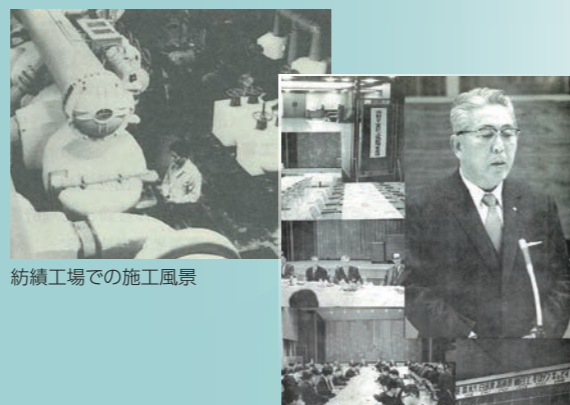
創業者 高須茂



「朝日式乾燥機」のカタログ

1925(大正14)年4月3日、当時の中核産業である紡績業の工場技師であった創業者 高須茂は、自らが発明考案した温湿度調整や噴霧給湿、真空除塵などの技術を広く世のために役立てたいとの想いから、大阪市に合資会社朝日工業社を設立しました。紡績産業において、創業者が発明考案した技術は必要不可欠なものであり、高い評価・信頼を得て、全国各地の紡績工場を中心に受注が相次ぎ、また戦時下における海外への紡績工場の開設においても当社の技術が活用され、国内のみならず海外における産業の発展に貢献しました。

戦後復興、高度経済成長を背景に 全国展開



紡績工場での施工風景

株式上場説明会の様子

戦後、日本経済が復興の兆しを見せる中、当社は紡績工場の再開や官公庁の復旧・新築などの工事を通じて、新たな国づくりに寄与しました。また、全国展開をスタートさせ、高度経済成長期においては、産業施設やオフィスビルの空気調和設備工事に積極的に取り組みました。1971(昭和46)年には、さらなる業容の拡大のため、東京証券取引所の第二部へ上場し、社会的責任を果たす上場企業としての大きな一歩を踏み出しました。

技術の応用と多角化が、 さまざまな産業の発展に寄与

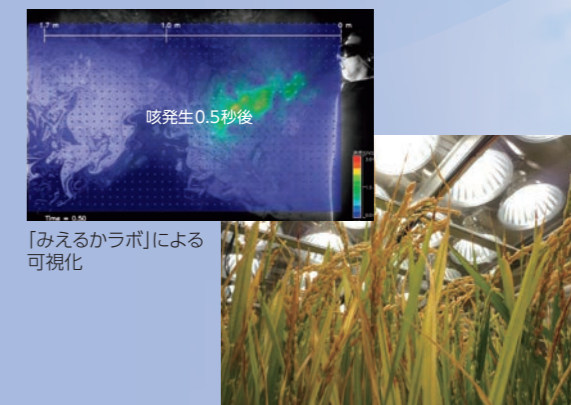


クリーンルーム

半導体用クリーンチャンバ

時代が急速に近代化、IT化へと進む中、当社は、確かな技術が必要な超高層ビル、インテリジェントビル、電算センター、病院、薬品工場および各種研究所等の空気調和・衛生設備の設計と施工を手掛け、さまざまな産業の発展に寄与しました。特に、日本の先端技術をリードした半導体の製造工場においては、「技術の朝日工業社」としての高度な技術力を駆使し、超クリーンルーム化を実現しました。また、1984(昭和59)年には、蓄積した空気調和技術をもとに機器事業部を開設して、半導体製造に必要なクリーンチャンバ等を開発し、「日の丸半導体」の隆盛を支えました。

サステナブルな社会の実現に 向けて挑戦を続ける



「みえるカラボ」による
可視化

遺伝子組換え植物研究施設

地球温暖化や感染症の世界的な拡大等のグローバルな問題が社会や生活の在り方にさまざまな影響を及ぼし、将来の予測が非常に難しい時代の中で、当社は「みえるカラボ」をはじめとした可視化技術、脱炭素化につながる環境制御技術、食の安定供給等に関するアグリ関連技術などを通じて、環境問題への対応や社会課題の解決に取り組んできました。これからも技術力・研究開発力の強化を図り、サステナブルな社会の実現に向けて、グループ全体で挑戦を続けていきます。